

## 事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	秋田県	関係市町村	にかほ市
事業名	水産物供給基盤整備事業（水産流通基盤整備事業）		
地区名	コノウラ 金浦	事業主体	秋田県

## I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	金浦漁港（第2種）	漁場名	金浦漁場
陸揚金額	212 百万円	陸揚量	354 トン
登録漁船隻数	67 隻	利用漁船隻数	70 隻
主な漁業種類	沖合・小型底びき網、小型定置網	主な魚種	ハタハタ、ひらめ・かれい類
漁業経営体数	35 経営体	組合員数	33 人
地区の特徴	<p>本地区は県南部に位置し、本地区沖合は対馬暖流2支流の合流点になっていることや、シラセ礁、メグレ礁など天然礁があり、好漁場を間近に控え古くから沿岸漁業の根拠地として発展してきた。</p> <p>また、県南部圏域の流通拠点漁港として、圏域内の8漁港に水揚げされた水産物はHACCP対応型市場の金浦荷捌き所に集荷され、水産物の陸揚げから出荷まで衛生管理、品質管理のもと一体的に行っている。</p>		
2. 事業概要			
事業目的	<p>本地区は、港内への侵入波や越波等により港内の静穏が悪く、漁船の安全係留や航行に支障を来している。また、係留施設や泊地の不足、臨港道路の未整備等、非効率な漁業活動を余儀なくされている。</p> <p>このため、外郭・係留施設や泊地・臨港道路等の整備により、漁業活動の安全性の向上や作業の効率化を図るとともに、環境・衛生管理に関連する防暑・防風施設や浄化処理施設整備を行い、安心・安全な水産物流通の合理化を促進する。</p>		
主要工事計画	沖防波堤200m、残土処理護岸470m、防波堤490m、飛護岸295m、航路浚渫42,500㎡、泊地浚渫54,900㎡、-4.0m岸壁302m、橋梁45m、増殖場6.5ha ほか		
事業費	6,118百万円	事業期間	平成14年度～平成27年度

## II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
<p>本事業では、平成24年に期中の評価を実施し、経済効果の妥当性について評価を行った。その際の分析の算定基礎となった受益戸数については、高齢化や人口減少に伴う漁船数の減少などの要因により減少しているものの、増殖場整備に伴う水質浄化効果が図られたことにより、費用便益比率は平成24年の1.11から令和3年の1.12へと微増している。</p>	
2. 事業効果の発現状況	
<p>事業実施以前は、防波機能が不十分により港内静穏度が確保されなかったり、係留施設の不足等により陸揚げ作業に支障を来すといった問題があった。また、港内の輸送施設は幅員が狭く見通しも悪かったことから、運搬車両や一般車両の通行に支障を来していたり、荷捌き所前面の岸壁では、夏季の直射日光や冬季の風雪による漁獲物の鮮度低下や過酷な環境条件下での作業を強いられていた。</p> <p>本事業による外郭・係留・輸送施設、荷捌き所前面の防暑・防風施設、浄化施設等の整備により、生産・運搬コストの削減や労働環境の改善、漁獲物の衛生・品質管理の向上、港内水域の水質環境改善が図られた。</p> <p>現時点での費用対効果分析の結果は1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。</p>	

3. 事業により整備された施設の管理状況				
本事業により整備された施設は、漁港管理者である秋田県が漁港漁場整備法第26条の規定に基づき漁港管理規定を定め、これに従い、適正に漁港の維持、保全及び運営その他漁港の維持管理を行っている。				
4. 事業実施による環境の変化				
増殖場の整備により、アワビ・イワガキ等の磯根資源の維持・培養効果が図られている。				
5. 社会経済情勢の変化				
当該漁港における平成13年計画時点の登録漁船隻数は82隻であったが、高齢化や人口減少といった問題等があり、令和元年には67隻に減少しているものの、地域の水産業は引き続き基幹産業としての重要性は高い。				
6. 今後の課題				
本事業により、港内静穏度の向上や陸揚げ等漁業活動の労働環境の改善が図られている。今後は、県唯一の防災拠点漁港としての陸揚岸壁の耐震化や水域施設を活用した養殖の実現化に向けた検討を進めていく必要がある。				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成24年評価時の 費用便益比B/C	1.11	現時点の B/C	1.12	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

### Ⅲ 総合評価

本事業では、県南部圏域での流通拠点として重要な役割を担っている当該地区において、安全で効率的な漁業活動のための外郭施設や係留施設、水産物流通の合理化のための輸送施設、環境・衛生に配慮した浄化施設、磯根資源の維持・培養効果を目的とした増殖場の整備を行った。また、貨幣化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、1.0を超えており、経済効果についても確認されている。

以上の結果から、本事業は当該地区において漁業経営の安定及び地域経済の振興へ寄与したものとされており、想定した事業効果の発現が認められた。

## 費用対効果分析集計表

## 1 基本情報

都道府県名	秋田県	地区名	金浦
事業名	水産流通基盤整備事業	施設の耐用年数	漁港50年 漁場30年

## 2 評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の 評価項目 及び 便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	11,565,404
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果			63,327	千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果	330,880	千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果	199,465	千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果	5,161	千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果	1,502,018	千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果	226,059	千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	13,892,314	千円
総費用額（現在価値化）		C	12,390,334	千円
費用便益比		B/C	1.12	

## 3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

○外郭施設の整備により港内静穏度が保たれ、荒天時においても係留漁船の安心感が得られる。

○作業環境が大幅に改善され、労働意欲の向上が図られる。

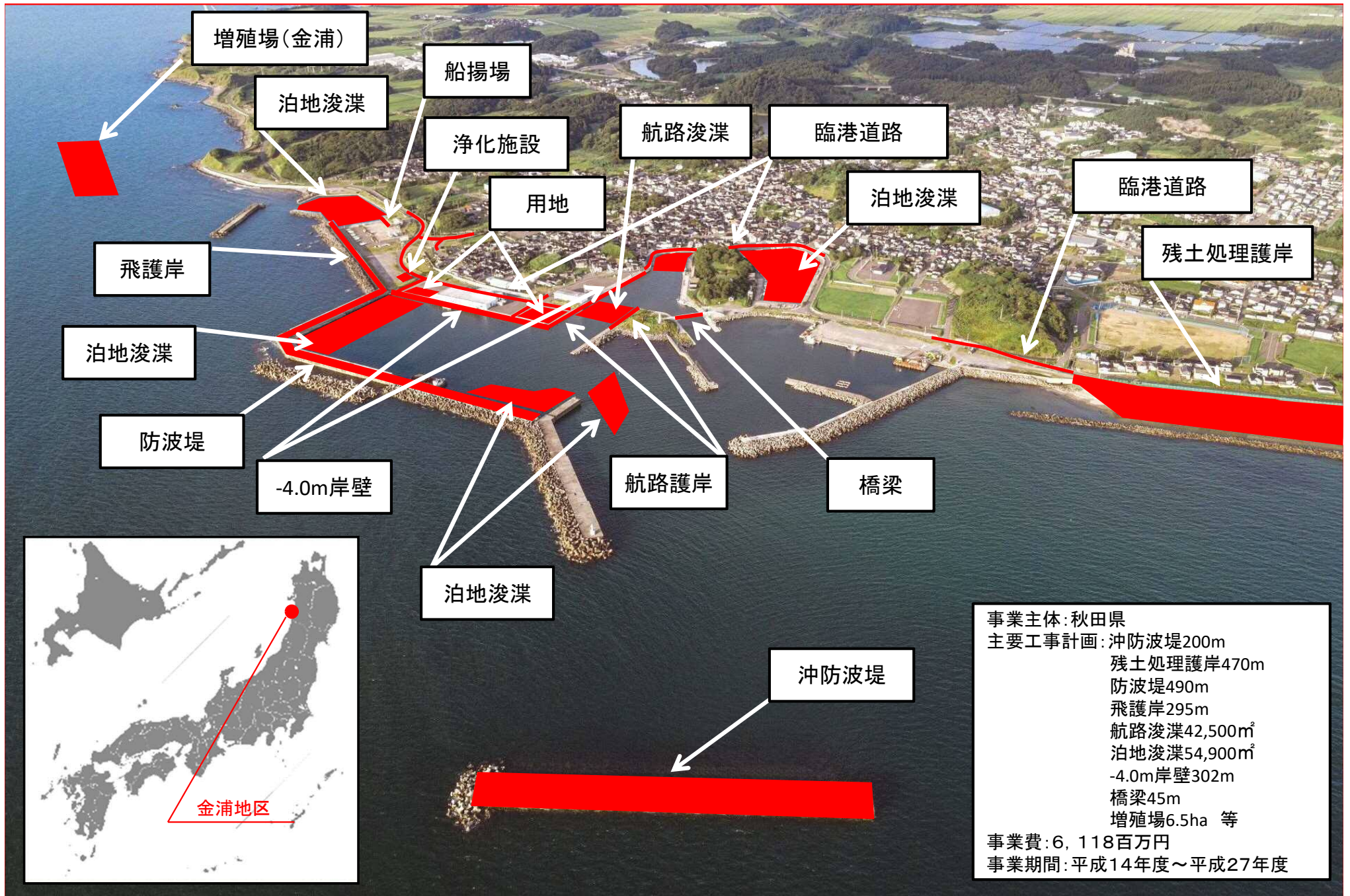
○屋根付き岸壁整備により、陸揚げされた漁獲物への清潔感・安心感がもたらされる。

○にかほ市金浦地区で例年2月に行われる「掛魚まつり」には、金浦漁港で陸揚げされたタラを活用しており、伝統行事の継承や観光振興に寄与している。

○漁港浄化施設整備により、水産物の品質・衛生管理が保たれ、港内水域の水質環境改善に寄与している。



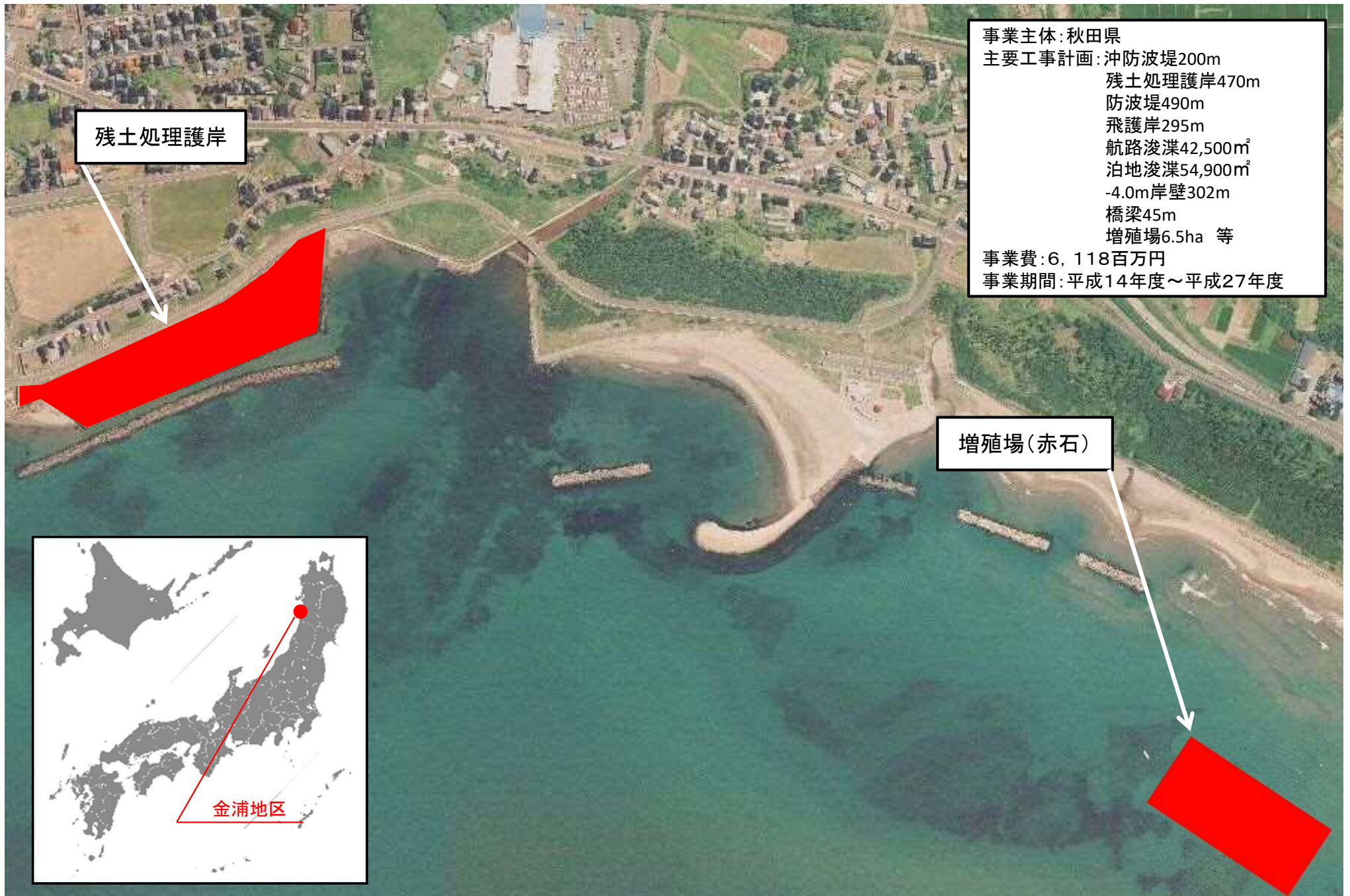
水産流通基盤整備事業 金浦地区 事業概要図 (1/2) 【整理番号8】



事業主体: 秋田県  
 主要工事計画: 沖防波堤200m  
 残土処理護岸470m  
 防波堤490m  
 飛護岸295m  
 航路浚渫42,500㎡  
 泊地浚渫54,900㎡  
 -4.0m岸壁302m  
 橋梁45m  
 増殖場6.5ha 等  
 事業費: 6,118百万円  
 事業期間: 平成14年度～平成27年度



# 水産流通基盤整備事業 金浦地区 事業概要図 (2/2) 【整理番号8】



事業主体: 秋田県  
主要工事計画: 沖防波堤200m  
残土処理護岸470m  
防波堤490m  
飛護岸295m  
航路浚渫42,500m<sup>2</sup>  
泊地浚渫54,900m<sup>2</sup>  
-4.0m岸壁302m  
橋梁45m  
増殖場6.5ha 等  
事業費: 6,118百万円  
事業期間: 平成14年度～平成27年度

## 1. 事業概要

- (1) 事業目的 : 本地区は、港内への侵入波や越波等により港内の静穏が悪く、漁船の安全係留や航行に支障を来している。また、係留施設や泊地の不足、臨港道路の未整備等、非効率な漁業活動を余儀なくされている。
- このため、外郭・係留施設や泊地・臨港道路等の整備により、漁業活動の安全性の向上や作業の効率化を図るとともに、環境・衛生管理に関連する施設整備を行い、安心・安全な水産物流通の合理化を促進する。
- (2) 主要工事計画 : 沖防波堤200m、残土処理護岸470m、防波堤490m、飛護岸295m、航路浚渫42,500m<sup>2</sup>、泊地浚渫54,900m<sup>2</sup>、-4.0m岸壁302m、橋梁45m、増殖場6.5ha ほか
- (3) 事業費 : 6,118百万円
- (4) 工期 : 平成14年度～平成27年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」(令和2年5月改訂 水産庁)及び同「参考資料」(令和3年5月改訂 水産庁)等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	12,390,334 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	13,892,314 (千円)
総費用総便益比	②÷①	1.12

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)
沖防波堤	L= 200m	2,774,400
防波堤(A)	L= 330m	975,700
防波堤(B)	L= 160m	200,500
残土処理護岸	L= 470m	258,200
飛護岸	L= 295m	249,300
-4.0m航路浚渫	A= 30,500㎡	154,900
-4.0m泊地浚渫	A= 9,300㎡	94,900
-3.0m泊地浚渫	A= 15,500㎡	22,700
-4.0m泊地浚渫(飛)	A= 8,600㎡	35,100
-2.0m泊地浚渫(飛)	A= 2,500㎡	1,600
航路護岸(A)	L= 85m	49,400
航路護岸(B)	L= 60m	45,200
岸壁取除	L= 60m	7,600
-4.0m岸壁(新設)	L= 210m	67,700
-4.0m岸壁(改良)	L= 92m	137,100
船揚場(飛)(改良)	L= 10m	15,100
防風・防暑施設	L= 70m	148,400
-4.0m岸壁(取除)	L= 92m	28,600
-4.0m岸壁(補償費)	N= 1式	113,800
用地(埋立)	A= 22,000㎡	25,800
用地(荷捌)	A= 3,000㎡	9,200
道路	L= 1,006m	209,300
橋梁	L= 45m	157,100
護岸取除	L= 40m	2,200
浄化施設	N= 1式	71,300
増殖場	A= 6.5ha	263,500
計		6,118,600
維持管理費等		50,000
総費用(消費税込)		6,168,600
内、消費税額		560,782
総費用(消費税抜)		5,607,818
現在価値化後の総費用		12,390,334

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額(千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		279,391	・漁獲量の増大 ・漁船、漁具の耐用年数の延長 ・作業時間の削減等
漁獲可能資源の維持・培養効果		2,159	・磯根資源の培養効果 ・磯根資源の維持培養効果
漁業就業者の労働環境改善効果		7,310	・港内作業の安全性、快適性の向上
生活環境の向上		4,957	・臨港道路整備による快適性の向上
漁業外産業への効果		161	・生産量増加に伴う流通・販売利益の向上
生命・財産保全・防御効果		55,252	・漁港造成による背後地への被害減少効果
自然環境保全・修復効果		7,264	・ホンダワラ科海藻の増加による水質浄化効果
	計	356,494	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率 ①	デフレ レータ ②	費用 (千円)			便益 (千円)							計 ④	現在価値 (千円) ①×④
				事業費 (維持管理 費含む) ③	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理 費含む) ①×②×③	水産物 生産コスト 削減効果	漁獲可能 資源の維 持・培養 効果	漁業就業者 の労働環境 改善効果	生活環境の 向上	漁業外 産業へ の効果	非常時・ 緊急時の 対処	自然環 境保 全・修 復効果		
-20	13	2.191	1.284	0	0	0								0	0
-19	14	2.107	1.287	706,600	672,952	1,824,850								0	0
-18	15	2.026	1.314	620,000	590,476	1,571,944	22,375	390	7,310		69	2,211	32,355	65,551	
-17	16	1.948	1.316	320,000	304,762	781,278	111,295	390	7,310		69	2,211	121,275	236,244	
-16	17	1.873	1.314	350,000	333,333	820,373	212,736	390	7,310		69	2,211	222,716	417,147	
-15	18	1.801	1.289	510,000	485,714	1,127,580	256,032	390	7,310	4,957	69	2,211	270,969	488,015	
-14	19	1.732	1.300	380,000	361,905	814,865	256,032	390	7,310	4,957	69	2,211	270,969	469,318	
-13	20	1.665	1.298	350,000	333,333	720,389	256,032	390	7,310	4,957	69	2,211	270,969	451,163	
-12	21	1.601	1.218	460,000	438,095	854,293	256,032	1,804	7,310	4,957	161	7,264	277,528	444,322	
-11	22	1.539	1.171	350,000	333,333	600,722	256,032	1,804	7,310	4,957	161	7,264	277,528	427,116	
-10	23	1.480	1.214	562,000	535,238	961,673	256,032	1,804	7,310	4,957	161	7,264	277,528	410,741	
-9	24	1.423	1.172	810,000	771,429	1,286,555	256,032	1,804	7,310	4,957	161	7,264	277,528	394,922	
-8	25	1.369	1.176	300,000	285,714	459,984	263,307	1,804	7,310	4,957	161	7,264	284,803	389,895	
-7	26	1.316	1.125	300,000	277,778	411,250	279,391	2,159	7,310	4,957	161	7,264	301,242	396,434	
-6	27	1.265	1.106	100,000	92,593	129,546	279,391	2,159	7,310	4,957	161	7,264	301,242	381,071	
-5	28	1.217	1.106	1,000	926	1,246	279,391	2,159	7,310	4,957	161	55,252	356,494	433,853	
-4	29	1.170	1.077	1,000	926	1,167	279,391	2,159	7,310	4,957	161	55,252	356,494	417,098	
-3	30	1.125	1.044	1,000	926	1,088	279,391	2,159	7,310	4,957	161	55,252	356,494	401,056	
-2	1	1.082	1.015	1,000	909	998	279,391	2,159	7,310	4,957	161	55,252	356,494	385,727	
-1	2	1.040	1.000	1,000	909	945	279,391	2,159	7,310	4,957	161	55,252	356,494	370,754	
0	3	1.000	1.000	1,000	909	909	279,391	2,159	7,310	4,957	161	55,252	356,494	356,494	
1	4	0.962	1.000	1,000	909	874	279,391	2,159	7,310	4,957	161	55,252	356,494	342,947	
2	5	0.925	1.000	1,000	909	841	279,391	2,159	7,310	4,957	161	55,252	356,494	329,757	
17	20	0.513	1.000	1,000	909	466	279,391	1,769	7,310	4,957	92	55,252	353,824	181,512	
18	21	0.494	1.000	1,000	909	449	279,391	355	7,310	4,957		55,252	347,265	171,549	
19	22	0.475	1.000	1,000	909	432	279,391	355	7,310	4,957		55,252	347,265	164,951	
20	23	0.456	1.000	1,000	909	415	279,391	355	7,310	4,957		55,252	347,265	158,353	
21	24	0.439	1.000	1,000	909	399	279,391	355	7,310	4,957		55,252	347,265	152,449	
22	25	0.422	1.000	1,000	909	384	279,391	355	7,310	4,957		55,252	347,265	146,546	
23	26	0.406	1.000	1,000	909	369	279,391		7,310	4,957		55,252	346,910	140,845	
24	27	0.390	1.000	1,000	909	355	279,391		7,310	4,957		55,252	346,910	135,295	
25	28	0.375	1.000	1,000	909	341	279,391		7,310	4,957		55,252	346,910	130,091	
26	29	0.361	1.000	1,000	909	328	279,391		7,310	4,957		55,252	346,910	125,235	
27	30	0.347	1.000	1,000	909	315	279,391		7,310	4,957		55,252	346,910	120,378	
28	31	0.333	1.000	1,000	909	303	279,391		7,310	4,957		55,252	346,910	115,521	
29	32	0.321	1.000	1,000	909	292	279,391		7,310	4,957		55,252	346,910	111,358	
30	33	0.308	1.000	1,000	909	280	279,391		7,310	4,957		55,252	346,910	106,848	
31	34	0.296	1.000	1,000	909	269	279,391		7,310	4,957		55,252	346,910	102,685	
32	35	0.285	1.000	1,000	909	259	257,016			4,957		55,252	317,225	90,409	
33	36	0.274	1.000	1,000	909	249	168,096			4,957		55,252	228,305	62,556	
34	37	0.264	1.000	1,000	909	240	66,655			4,957		55,252	126,864	33,492	
35	38	0.253	1.000	1,000	909	230	23,359					55,252	78,611	19,889	
36	39	0.244	1.000	1,000	909	222	23,359					55,252	78,611	19,181	
37	40	0.234	1.000	1,000	909	213	23,359					55,252	78,611	18,395	
38	41	0.225	1.000	1,000	909	205	23,359					55,252	78,611	17,687	
39	42	0.217	1.000	1,000	909	197	23,359					55,252	78,611	17,059	
40	43	0.208	1.000	1,000	909	189	23,359					55,252	78,611	16,351	
41	44	0.200	1.000	1,000	909	182	23,359					55,252	78,611	15,722	
42	45	0.193	1.000	1,000	909	175	16,084					55,252	71,336	13,768	
43	46	0.185	1.000	1,000	909	168						55,252	55,252	10,221	
44	47	0.178	1.000	1,000	909	162						55,252	55,252	9,834	
45	48	0.171	1.000		0	0							0	0	
計				6,168,600	5,862,156	12,390,334	計							0	13,892,314

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定  
 ※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。



## 3. 効果額の算定方法

## (1) 水産物生産コストの削減効果

## 1) 沖防波堤整備に伴う漁獲量の増大

港口は南西方向に開いているため、南西からの波浪(8~13m/sの風速：ヒアリング)に対して出入港時に漁船が横波を受け、漁場では操業可能な波高でも漁業できない(もしくは操業早期切り上げ)状況であったが、沖防波堤の整備により港口部の静穏度が向上し、出漁日数の増加が図られる。

12,474 千円

## (沖合底びき網)

区分			
年間出漁日数〔整備前〕(日)	①	135	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間出漁増加日数〔整備後〕(日)	②	29	
年間漁獲量(t)	③	175	R元港勢
年間漁獲高(千円)	④	95,191	R元港勢
単価(円/kg)	⑤	544	④÷③
1日当たり漁獲量(t)	⑥	1.3	③÷①
増加漁獲高(千円)	⑦	20,509	②×⑤×⑥
漁業所得率(%)	⑧	0.208	R元漁業経営調査報告(10~20t)
年間便益額(千円/年)		4,266	⑦×⑧

## (小型底びき網)

区分			
年間出漁日数〔整備前〕(日)	①	135	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間出漁増加日数〔整備後〕(日)	②	29	
年間漁獲量(t)	③	36	R元港勢
年間漁獲高(千円)	④	19,582	R元港勢
単価(円/kg)	⑤	544	④÷③
1日当たり漁獲量(t)	⑥	0.3	③÷①
増加漁獲高(千円)	⑦	4,733	②×⑤×⑥
漁業所得率(%)	⑧	0.259	R元漁業経営調査報告(5~10t)
年間便益額(千円/年)		1,226	⑦×⑧

## (小型定置網)

区分			
年間出漁日数〔整備前〕(日)	①	174	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間出漁増加日数〔整備後〕(日)	②	39	
年間漁獲量(t)	③	96	R元港勢
年間漁獲高(千円)	④	55,194	R元港勢
単価(円/kg)	⑤	575	④÷③
1日当たり漁獲量(t)	⑥	0.6	③÷①
増加漁獲高(千円)	⑦	13,455	②×⑤×⑥
漁業所得率(%)	⑧	0.248	R元漁業経営調査報告(小型定置網漁業)
年間便益額(千円/年)		3,337	⑦×⑧

## (さし網)

区分			
年間出漁日数〔整備前〕(日)	①	174	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間出漁増加日数〔整備後〕(日)	②	35	
年間漁獲量(t)	③	10	R元港勢
年間漁獲高(千円)	④	9,286	R元港勢
単価(円/kg)	⑤	929	④÷③
1日当たり漁獲量(t)	⑥	0.1	③÷①
増加漁獲高(千円)	⑦	3,252	②×⑤×⑥
漁業所得率(%)	⑧	0.432	R元漁業経営調査報告(3t未満)
年間便益額(千円/年)		1,405	⑦×⑧

## (イカ釣り)

区分			
年間出漁日数〔整備前〕(日)	①	23	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間出漁増加日数〔整備後〕(日)	②	4	
年間漁獲量(t)	③	2	R元港勢
年間漁獲高(千円)	④	1,193	R元港勢
単価(円/kg)	⑤	597	④÷③
1日当たり漁獲量(t)	⑥	0.1	③÷①
増加漁獲高(千円)	⑦	239	②×⑤×⑥
漁業所得率(%)	⑧	0.208	R元漁業経営調査報告(10~20t)
年間便益額(千円/年)		50	⑦×⑧

(その他釣り)

区分			
年間出漁日数〔整備前〕(日)	①	148	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間出漁増加日数〔整備後〕(日)	②	30	
年間漁獲量(t)	③	13	R元港勢
年間漁獲高(千円)	④	7,170	R元港勢
単価(円/kg)	⑤	552	④÷③
1日当たり漁獲量(t)	⑥	0.1	③÷①
増加漁獲高(千円)	⑦	1,656	②×⑤×⑥
漁業所得率(%)	⑧	0.432	R元漁業経営調査報告(3t未満)
年間便益額(千円/年)		715	⑥×⑦

(採貝・採草)

区分			
年間出漁日数〔整備前〕(日)	①	36	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間出漁増加日数〔整備後〕(日)	②	6	
年間漁獲量(t)	③	15	R元港勢
年間漁獲高(千円)	④	21,347	R元港勢
単価(円/kg)	⑤	1,423	④÷③
1日当たり漁獲量(t)	⑥	0.4	③÷①
増加漁獲高(千円)	⑦	3,415	②×⑤×⑥
漁業所得率(%)	⑧	0.432	R元漁業経営調査報告(3t未満)
年間便益額(千円/年)		1,475	⑥×⑦

2) 岸壁整備に伴う漁獲量の増大

イカ釣りの漁場は、6～7月が金浦沖付近となり、金浦漁港は陸揚げを行うには最も適した漁港となるが、旧荷捌き所前の泊地は狭く外来船は陸揚げ岸壁付近に複数列係留しなければならない。他の漁船の出入港時には漁船を移動しなければならず、陸揚げを他港で行っている漁船もあり、新たに岸壁の整備を行うことで混雑回避で他港へ行かざるを得なかった漁船の陸揚げが可能となり、漁獲量の増加が図られる。

3,837 千円

(外来船の増加)

区分			備考
外來隻数(隻)			
整備前	①	8	H16港勢
整備後	②	11	H27～R元港勢平均
増加漁獲量(t/隻)	③	10.4	H27～R元港勢平均(31.17t/(②-①))
1トン当たり漁獲高(千円/t)	④	402	H27～R元港勢平均(12,536千円/31.17t)
増加漁獲高(千円/隻)	⑤	4,181	③×④
漁業所得率	⑥	0.208	R元漁業経営調査報告(10～20t)
年間便益額(千円/年)		2,609	(②-①)×⑤×⑥

(航行時間短縮)

区分			備考
往復航行時間(時間)			
整備前 他港～漁場(往復)	①	4.00	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 金浦～漁場(往復)	②	2.00	
作業人員(人/隻)	③	3	
対象日数(日/年)	④	27	
1日当たり出漁回数(回)	⑤	1	
該当隻数(隻)	⑥	3	
労務単価(円/時間)	⑦	1,843	
年間便益額(千円/年)		896	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(燃料費の削減)

区分			備考
往復航行時間(時間)			
整備前 他港～漁場(往復)	①	4.00	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 金浦～漁場(往復)	②	2.00	
1日当たり出漁回数(回)	③	1	
該当隻数(隻)	④	3	
対象日数(日/年)	⑤	27	
平均馬力(PS/隻)	⑥	165	
燃料消費率(kg/PS・h)	⑦	28.1	
燃料単価(円)	⑧	73	秋田県実施単価表
年間便益額(千円/年)		332	(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧

(イカ釣り)

年間便益額(千円/年)	3,837	合計
-------------	-------	----

3) 沖防波堤整備に伴う経費の削減（航行時間の短縮）

沖防波堤の整備により、出漁限界時の南西方向波浪（6～7m/s風速：ヒアリング）に対して港口部の静穏度が確保され、漁船速度が維持でき、航行時間の短縮、燃料費の削減が図られる。

3,610 千円

（沖合底びき網・航行時間短縮）

区分		備考
港内往復航行時間（時間）		
整備前	①	0.67
整備後	②	0.20
作業人員（人/隻）	③	5
対象日数（日/年）	④	22
1日当たり出漁回数（回）	⑤	1
該当隻数（隻）	⑥	4
労務単価（円/時間）	⑦	1,843
年間便益額（千円/年）		381

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告（10～20t）  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

（沖合底びき網・燃料費の削減）

区分		備考
港内往復航行時間（時間）		
整備前	①	0.67
整備後	②	0.20
1日当たり出漁回数（回）	③	1
該当隻数（隻）	④	4
対象日数（日/年）	⑤	22
平均馬力（PS/隻）	⑥	165
燃料消費率（kg/PS・h）	⑦	28.1
燃料単価（円）	⑧	73
年間便益額（千円/年）		85

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 令和3年10月7日漁協ヒアリング調査  
 が「ト」ライ参考資料(0.17×⑥)  
 秋田県実施単価表  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧$

（沖合底びき網）

年間便益額（千円/年）	466	合計
-------------	-----	----

（小型底びき網・航行時間短縮）

区分		備考
港内往復航行時間（時間）		
整備前	①	0.67
整備後	②	0.20
作業人員（人/隻）	③	4
対象日数（日/年）	④	22
1日当たり出漁回数（回）	⑤	1
該当隻数（隻）	⑥	6
労務単価（円/時間）	⑦	2,405
年間便益額（千円/年）		597

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告（5～10t）  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

（小型底びき網・燃料費の削減）

区分		備考
港内往復航行時間（時間）		
整備前	①	0.67
整備後	②	0.20
1日当たり出漁回数（回）	③	1
該当隻数（隻）	④	6
対象日数（日/年）	⑤	22
平均馬力（PS/隻）	⑥	79
燃料消費率（kg/PS・h）	⑦	13.4
燃料単価（円）	⑧	73
年間便益額（千円/年）		61

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 令和3年10月7日漁協ヒアリング調査  
 が「ト」ライ参考資料(0.17×⑥)  
 秋田県実施単価表  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧$

（小型底びき網）

年間便益額（千円/年）	658	合計
-------------	-----	----

（小型定置網・航行時間短縮）

区分		備考
港内往復航行時間（時間）		
整備前	①	0.67
整備後	②	0.20
作業人員（人/隻）	③	4
対象日数（日/年）	④	33
1日当たり出漁回数（回）	⑤	2
該当隻数（隻）	⑥	3
労務単価（円/時間）	⑦	1,774
年間便益額（千円/年）		660

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告（小型定置網漁業）  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$



## (小型定置網・燃料費の削減)

区分		備考	
港内往復航行時間 (時間)			調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.67	調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.20	調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
1日当たり出漁回数 (回)	③	1	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
該当隻数 (隻)	④	3	調査実施方法：ヒアリング調査
対象日数 (日/年)	⑤	33	R元港勢
平均馬力 (PS/隻)	⑥	123	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	20.9	ガイトライ参考資料(0.17×⑥)
燃料単価 (円)	⑧	73	秋田県実施単価表
年間便益額 (千円/年)		71	(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧
(小型定置網)			
年間便益額 (千円/年)		731	合計

## (イカ釣り・航行時間短縮)

区分		備考	
港内往復航行時間 (時間)			調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.50	調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.17	調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
作業人員 (人/隻)	③	3	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
対象日数 (日/年)	④	8	調査実施方法：ヒアリング調査
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1	
該当隻数 (隻)	⑥	11	H27～R元港勢平均
労務単価 (円/時間)	⑦	1,843	R元漁業経営調査報告 (10～20t)
年間便益額 (千円/年)		161	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

## (イカ釣り・燃料費の削減)

区分		備考	
港内往復航行時間 (時間)			調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.50	調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.17	調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
1日当たり出漁回数 (回)	③	1	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
該当隻数 (隻)	④	11	調査実施方法：ヒアリング調査
対象日数 (日/年)	⑤	8	H27～R元港勢平均
平均馬力 (PS/隻)	⑥	165	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	28.1	ガイトライ参考資料(0.17×⑥)
燃料単価 (円)	⑧	73	秋田県実施単価表
年間便益額 (千円/年)		60	(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧
(イカ釣り)			
年間便益額 (千円/年)		221	合計

## (さし網・航行時間短縮)

区分		備考	
港内往復航行時間 (時間)			調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.83	調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.17	調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
作業人員 (人/隻)	③	2	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
対象日数 (日/年)	④	33	調査実施方法：ヒアリング調査
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1	
該当隻数 (隻)	⑥	9	R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑦	1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)		438	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

## (さし網・燃料費の削減)

区分		備考	
港内往復航行時間 (時間)			調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.83	調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.17	調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
1日当たり出漁回数 (回)	③	1	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
該当隻数 (隻)	④	9	調査実施方法：ヒアリング調査
対象日数 (日/年)	⑤	33	R元港勢
平均馬力 (PS/隻)	⑥	54	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	9.2	ガイトライ参考資料(0.17×⑥)
燃料単価 (円)	⑧	73	秋田県実施単価表
年間便益額 (千円/年)		132	(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧
(さし網)			
年間便益額 (千円/年)		570	合計

(その他釣り・航行時間短縮)

区分			備考
港内往復航行時間 (時間)			
整備前	①	0.83	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.17	
作業人員 (人/隻)	③	1	
対象日数 (日/年)	④	32	
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1	
該当隻数 (隻)	⑥	18	
労務単価 (円/時間)	⑦	1,118	
年間便益額 (千円/年)		425	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

(その他釣り・燃料費の削減)

区分			備考
港内往復航行時間 (時間)			
整備前	①	0.83	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.17	
1日当たり出漁回数 (回)	③	1	
該当隻数 (隻)	④	18	
対象日数 (日/年)	⑤	32	
平均馬力 (PS/隻)	⑥	63	
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	10.7	
燃料単価 (円)	⑧	73	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)		297	ガトラー参考資料(0.17×⑥) 秋田県実施単価表 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧$

(その他釣り)

年間便益額 (千円/年)	722	合計
--------------	-----	----

(採貝採草・航行時間短縮)

区分			備考
港内往復航行時間 (時間)			
整備前	①	0.83	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.33	
作業人員 (人/隻)	③	1	
対象日数 (日/年)	④	11	
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1	
該当隻数 (隻)	⑥	25	
労務単価 (円/時間)	⑦	1,118	
年間便益額 (千円/年)		154	R元港勢 R元漁業経営調査報告 (3t未満) $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

(採貝採草・燃料費の削減)

区分			備考
港内往復航行時間 (時間)			
整備前	①	0.83	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.33	
1日当たり出漁回数 (回)	③	1	
該当隻数 (隻)	④	25	
対象日数 (日/年)	⑤	11	
平均馬力 (PS/隻)	⑥	52	
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	8.8	
燃料単価 (円)	⑧	73	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)		88	ガトラー参考資料(0.17×⑥) 秋田県実施単価表 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧$

(採貝・採草)

年間便益額 (千円/年)	242	合計
--------------	-----	----

4) 沖防波堤・岸壁整備に伴う経費の節減効果 (漁船の耐用年数)

沖防波堤整備により静穏度が確保されるとともに、岸壁の整備に伴い複数列漁船係留が解消され、係留時の接触等軽減が図られる。

35,832 千円

区分			備考
整備前			
漁船の耐用年数 (年)	①	7	費用対効果分析ガイドライン (R3.5月)
漁船の総トン数 (t)	②	191	R元港勢
漁船の建造費 (千円/t)	③	4,213	費用対効果分析ガイドライン (R3.5月)
整備後			
漁船の寿命の延長 (年)	④	3.17	費用対効果分析ガイドライン (R3.5月)
年間便益額 (千円/年)		35,832	$(1/①-1/(①+④)) \times ③ \times ②$

5) 岸壁整備に伴う経費の節減効果（待機時間の短縮）

現況では陸揚げ時混雑しているため、接岸できず洋上で待機しなければならないが、新たに岸壁を整備することにより接岸延長が長くなり、待機時間の減少が図られる。

$$28,555 \text{ 千円} \times 0.60 = 17,133 \text{ 千円}$$

按分係数0.60（9次計画の事業費を含めたものと本計画の事業費を考慮して按分）

（沖合底びき網・待機時間短縮）

区分		備考
待機時間（時間）		
整備前	①	0.83
整備後	②	0.00
作業人員（人/隻）	③	5
出漁日数（日/年）	④	135
1日当たり出漁回数（回）	⑤	1
該当隻数（隻）	⑥	4
労務単価（円/時間）	⑦	1,843
年間便益額（千円/年）		4,130

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告（10～20t）  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

（沖合底びき網・燃料費の削減）

区分		備考
待機時間（時間）		
整備前	①	0.83
整備後	②	0.00
1日当たり出漁回数（回）	③	1
該当隻数（隻）	④	4
出漁日数（日/年）	⑤	135
平均馬力（PS/隻）	⑥	165
燃料消費率（kg/PS・h）	⑦	28.1
燃料単価（円）	⑧	73
年間便益額（千円/年）		919

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 令和3年10月7日漁協ヒアリング調査  
 が'ト'ラ'イ参考資料(0.17×⑥)  
 秋田県実施単価表  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧$

（沖合底びき網）

年間便益額（千円/年）	5,049	合計
-------------	-------	----

（小型底びき網・待機時間短縮）

区分		備考
待機時間（時間）		
整備前	①	0.83
整備後	②	0.00
作業人員（人/隻）	③	4
出漁日数（日/年）	④	135
1日当たり出漁回数（回）	⑤	1
該当隻数（隻）	⑥	6
労務単価（円/時間）	⑦	2,405
年間便益額（千円/年）		6,468

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告（5～10t）  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

（小型底びき網・燃料費の削減）

区分		備考
待機時間（時間）		
整備前	①	0.83
整備後	②	0.00
1日当たり出漁回数（回）	③	1
該当隻数（隻）	④	6
出漁日数（日/年）	⑤	135
平均馬力（PS/隻）	⑥	79
燃料消費率（kg/PS・h）	⑦	13.4
燃料単価（円）	⑧	73
年間便益額（千円/年）		658

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 令和3年10月7日漁協ヒアリング調査  
 が'ト'ラ'イ参考資料(0.17×⑥)  
 秋田県実施単価表  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧$

（小型底びき網）

年間便益額（千円/年）	7,126	合計
-------------	-------	----

（小型定置網・待機時間短縮）

区分		備考
待機時間（時間）		
整備前	①	0.83
整備後	②	0.00
作業人員（人/隻）	③	4
出漁日数（日/年）	④	174
1日当たり出漁回数（回）	⑤	2
該当隻数（隻）	⑥	3
労務単価（円/時間）	⑦	1,774
年間便益額（千円/年）		6,149

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告（小型定置網）  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$



(小型定置網・燃料費の削減)

区分		備考	
待機時間 (時間)			調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.83	調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.00	調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
1日当たり出漁回数 (回)	③	1	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
該当隻数 (隻)	④	3	調査実施方法：ヒアリング調査
出漁日数 (日/年)	⑤	174	
平均馬力 (PS/隻)	⑥	123	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	20.9	ガイトライ参考資料(0.17×⑥)
燃料単価 (円)	⑧	73	秋田県実施単価表
年間便益額 (千円/年)		661	(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧
(小型定置網)			
年間便益額 (千円/年)		6,810	合計

(さし網・待機時間短縮)

区分		備考	
待機時間 (時間)			調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.83	調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.00	調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
作業人員 (人/隻)	③	2	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
出漁日数 (日/年)	④	174	調査実施方法：ヒアリング調査
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1	
該当隻数 (隻)	⑥	9	R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑦	1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)		2,906	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(さし網・燃料費の削減)

区分		備考	
待機時間 (時間)			調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.83	調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.00	調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
1日当たり出漁回数 (回)	③	1	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
該当隻数 (隻)	④	9	調査実施方法：ヒアリング調査
出漁日数 (日/年)	⑤	174	
平均馬力 (PS/隻)	⑥	54	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	9.2	ガイトライ参考資料(0.17×⑥)
燃料単価 (円)	⑧	73	秋田県実施単価表
年間便益額 (千円/年)		873	(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧
(さし網)			
年間便益額 (千円/年)		3,779	合計

(イカ釣り・待機時間短縮)

区分		備考	
待機時間 (時間)			調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.83	調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.00	調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
作業人員 (人/隻)	③	3	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
出漁日数 (日/年)	④	23	調査実施方法：ヒアリング調査
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1	
該当隻数 (隻)	⑥	11	H27～R元港勢平均
労務単価 (円/時間)	⑦	1,843	R元漁業経営調査報告 (10～20t)
年間便益額 (千円/年)		1,161	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(イカ釣り・燃料費の削減)

区分		備考	
待機時間 (時間)			調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.83	調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.00	調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
1日当たり出漁回数 (回)	③	1	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
該当隻数 (隻)	④	11	調査実施方法：ヒアリング調査
出漁日数 (日/年)	⑤	23	
平均馬力 (PS/隻)	⑥	165	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	28.1	ガイトライ参考資料(0.17×⑥)
燃料単価 (円)	⑧	73	秋田県実施単価表
年間便益額 (千円/年)		431	(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧
(イカ釣り)			
年間便益額 (千円/年)		1,592	合計

(その他釣り・待機時間短縮)

区分			備考
待機時間 (時間)			
整備前	①	0.83	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.00	
作業人員 (人/隻)	③	1	
出漁日数 (日/年)	④	148	
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1	
該当隻数 (隻)	⑥	18	
労務単価 (円/時間)	⑦	1,118	
年間便益額 (千円/年)		2,472	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

(その他釣り・燃料費の削減)

区分			備考
待機時間 (時間)			
整備前	①	0.83	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.00	
1日当たり出漁回数 (回)	③	1	
該当隻数 (隻)	④	18	
出漁日数 (日/年)	⑤	148	
平均馬力 (PS/隻)	⑥	63	
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	10.7	
燃料単価 (円)	⑧	73	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)		1,727	ガ'ト'ライ参考資料(0.17×⑥) 秋田県実施単価表 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧$

(その他釣り)

年間便益額 (千円/年)	4,199	合計
--------------	-------	----

6) 航路整備に伴う経費の削減 (出港時の混雑解消)

旧荷捌き所前の航路整備をする前は、出港時、旧荷捌き所前泊地へ狭隘な航路を通過する必要があり、出港時混雑により待機しなければならぬ状況であった。新たに航路が整備されたことで、出港時の漁船が分散し、出港時待機時間の解消が図られる。

17,992 千円

(沖合底びき網・待機時間短縮)

区分			備考
待機時間 (時間)			
整備前	①	0.50	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.00	
作業人員 (人/隻)	③	5	
出漁日数 (日/年)	④	135	
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1	
該当隻数 (隻)	⑥	4	
労務単価 (円/時間)	⑦	1,843	
年間便益額 (千円/年)		2,488	R元港勢 R元漁業経営調査報告 (10~20t) $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

(沖合底びき網・燃料費の削減)

区分			備考
待機時間 (時間)			
整備前	①	0.50	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.00	
1日当たり出漁回数 (回)	③	1	
該当隻数 (隻)	④	4	
出漁日数 (日/年)	⑤	135	
平均馬力 (PS/隻)	⑥	165	
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	28.1	
燃料単価 (円)	⑧	73	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)		554	ガ'ト'ライ参考資料(0.17×⑥) 秋田県実施単価表 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧$

(沖合底びき網)

年間便益額 (千円/年)	3,042	合計
--------------	-------	----

(小型底びき網・待機時間短縮)

区分			備考
待機時間 (時間)			
整備前	①	0.50	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.00	
作業人員 (人/隻)	③	4	
出漁日数 (日/年)	④	135	
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1	
該当隻数 (隻)	⑥	6	
労務単価 (円/時間)	⑦	2,405	
年間便益額 (千円/年)		3,896	R元港勢 R元漁業経営調査報告 (5~10t) $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

(小型底びき網・燃料費の削減)

区分				備考
待機時間 (時間)				調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.50		調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.00		調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
1日当たり出漁回数 (回)	③	1		調査実施者：秋田県水産漁港課職員
該当隻数 (隻)	④	6		調査実施方法：ヒアリング調査
出漁日数 (日/年)	⑤	135		R元港勢
平均馬力 (PS/隻)	⑥	79		令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	13.4		が <sup>レ</sup> イ <sup>ラ</sup> イ参考資料(0.17×⑥)
燃料単価 (円)	⑧	73		秋田県実施単価表
年間便益額 (千円/年)		396		(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧
(小型底びき網)				
年間便益額 (千円/年)		4,292		合計

(小型定置網・待機時間短縮)

区分				備考
待機時間 (時間)				調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.50		調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.00		調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
作業人員 (人/隻)	③	4		調査実施者：秋田県水産漁港課職員
出漁日数 (日/年)	④	174		調査実施方法：ヒアリング調査
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	2		
該当隻数 (隻)	⑥	3		R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑦	1,774		R元漁業経営調査報告 (小型定置網漁業)
年間便益額 (千円/年)		3,704		(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(小型定置網・燃料費の削減)

区分				備考
待機時間 (時間)				調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.50		調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.00		調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
1日当たり出漁回数 (回)	③	1		調査実施者：秋田県水産漁港課職員
該当隻数 (隻)	④	3		調査実施方法：ヒアリング調査
出漁日数 (日/年)	⑤	174		R元港勢
平均馬力 (PS/隻)	⑥	123		令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	20.9		が <sup>レ</sup> イ <sup>ラ</sup> イ参考資料(0.17×⑥)
燃料単価 (円)	⑧	73		秋田県実施単価表
年間便益額 (千円/年)		398		(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧
(小型定置網)				
年間便益額 (千円/年)		4,102		合計

(さし網・待機時間短縮)

区分				備考
待機時間 (時間)				調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.50		調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.00		調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
作業人員 (人/隻)	③	2		調査実施者：秋田県水産漁港課職員
出漁日数 (日/年)	④	174		調査実施方法：ヒアリング調査
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1		
該当隻数 (隻)	⑥	9		R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑦	1,118		R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)		1,751		(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(さし網・燃料費の削減)

区分				備考
待機時間 (時間)				調査日：令和3年10月7日
整備前	①	0.50		調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所
整備後	②	0.00		調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員
1日当たり出漁回数 (回)	③	1		調査実施者：秋田県水産漁港課職員
該当隻数 (隻)	④	9		調査実施方法：ヒアリング調査
出漁日数 (日/年)	⑤	174		R元港勢
平均馬力 (PS/隻)	⑥	54		令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	9.2		が <sup>レ</sup> イ <sup>ラ</sup> イ参考資料(0.17×⑥)
燃料単価 (円)	⑧	73		秋田県実施単価表
年間便益額 (千円/年)		526		(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧
(さし網)				
年間便益額 (千円/年)		2,277		合計



## (イカ釣り・待機時間短縮)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	①	0.50
整備後	②	0.00
作業人員 (人/隻)	③	3
出漁日数 (日/年)	④	23
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1
該当隻数 (隻)	⑥	11
労務単価 (円/時間)	⑦	1,843
年間便益額 (千円/年)		699

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

H27～R元港勢平均

R元漁業経営調査報告 (10～20t)

$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

## (イカ釣り・燃料費の削減)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	①	0.50
整備後	②	0.00
1日当たり出漁回数 (回)	③	1
該当隻数 (隻)	④	11
出漁日数 (日/年)	⑤	23
平均馬力 (PS/隻)	⑥	165
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	28.1
燃料単価 (円)	⑧	73
年間便益額 (千円/年)		259

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

H27～R元港勢平均

令和3年10月7日漁協ヒアリング調査

ガバライ参考資料(0.17×⑥)

秋田県実施単価表

$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧$

## (イカ釣り)

年間便益額 (千円/年)	958	合計
--------------	-----	----

## (その他釣り・待機時間短縮)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	①	0.50
整備後	②	0.00
作業人員 (人/隻)	③	1
出漁日数 (日/年)	④	148
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1
該当隻数 (隻)	⑥	18
労務単価 (円/時間)	⑦	1,118
年間便益額 (千円/年)		1,489

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢

R元漁業経営調査報告 (3t未満)

$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

## (その他釣り・燃料費の削減)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	①	0.50
整備後	②	0.00
1日当たり出漁回数 (回)	③	1
該当隻数 (隻)	④	18
出漁日数 (日/年)	⑤	148
平均馬力 (PS/隻)	⑥	63
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦	10.7
燃料単価 (円)	⑧	73
年間便益額 (千円/年)		1,040

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢

令和3年10月7日漁協ヒアリング調査

ガバライ参考資料(0.17×⑥)

秋田県実施単価表

$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧$

## (その他釣り)

年間便益額 (千円/年)	2,529	合計
--------------	-------	----

## (採貝採草・待機時間短縮)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	①	0.50
整備後	②	0.00
作業人員 (人/隻)	③	1
出漁日数 (日/年)	④	36
1日当たり出漁回数 (回)	⑤	1
該当隻数 (隻)	⑥	25
労務単価 (円/時間)	⑦	1,118
年間便益額 (千円/年)		503

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢

R元漁業経営調査報告 (3t未満)

$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

(採貝採草・燃料費の削減)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	① 0.50	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	② 0.00	
1日当たり出漁回数 (回)	③ 1	
該当隻数 (隻)	④ 25	R元港勢
出漁日数 (日/年)	⑤ 36	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
平均馬力 (PS/隻)	⑥ 52	
燃料消費率 (kg/PS・h)	⑦ 8.8	ガソリン参考資料(0.17×⑥)
燃料単価 (円)	⑧ 73	秋田県実施単価表
年間便益額 (千円/年)	289	(①-②)×③×④×⑤×⑦×⑧
(採貝・採草)		
年間便益額 (千円/年)	792	合計

7) 航路整備に伴う経費の削減 (航路浚渫による労働時間の削減)

旧航路において、砂の堆積により所要の水深が確保できない時期 (冬季の2~3月：ヒアリング) があり、出入港時潮待ちしている状況があった。新航路の浚渫を行うことにより、潮汐による制約が解除され、潮待ち時間を解消でき労働時間の削減が図られる。

4,685 千円

(沖合底びき網)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	① 3.00	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	② 0.00	
対象日数 (日/年)	③ 10	
1隻当たり作業人員 (人/隻)	④ 5	
該当隻数 (隻)	⑤ 4	R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑥ 1,843	R元漁業経営調査報告 (10~20t)
年間便益額 (千円/年)	1,106	(①-②)×③×④×⑤×⑥

(小型底びき網)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	① 3.00	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	② 0.00	
対象日数 (日/年)	③ 10	
1隻当たり作業人員 (人/隻)	④ 4	
該当隻数 (隻)	⑤ 6	R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑥ 2,405	R元漁業経営調査報告 (5~10t)
年間便益額 (千円/年)	1,732	(①-②)×③×④×⑤×⑥

(小型定置網)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	① 3.00	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	② 0.00	
対象日数 (日/年)	③ 10	
1隻当たり作業人員 (人/隻)	④ 4	
該当隻数 (隻)	⑤ 3	R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑥ 1,774	R元漁業経営調査報告 (小型定置網漁業)
年間便益額 (千円/年)	639	(①-②)×③×④×⑤×⑥

(さし網)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	① 3.00	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	② 0.00	
対象日数 (日/年)	③ 10	
1隻当たり作業人員 (人/隻)	④ 2	
該当隻数 (隻)	⑤ 9	R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑥ 1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)	604	(①-②)×③×④×⑤×⑥

(その他釣り)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	① 3.00	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	② 0.00	
対象日数 (日/年)	③ 10	
1隻当たり作業人員 (人/隻)	④ 1	
該当隻数 (隻)	⑤ 18	R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑥ 1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)	604	(①-②)×③×④×⑤×⑥

8) 港内静穏度向上に伴う荒天時係留の警戒作業の削減

港奥部にある泊地は狭く、複数列や間隔が密な状態で係留を行っているが、新たに岸壁が整備されることで上記の問題が解消され、荒天時の見回り回数・時間の削減が図られる。

27,433 千円

(沖合底びき網)

区分		備考
整備前		
見回り回数 (回/日)	① 4	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
見回り人員数 (人)	② 5	
見回り時間 (時間/回)	③ 2.0	
整備後		
見回り回数 (回/日)	④ 1	
見回り人員数 (人)	⑤ 1	
見回り時間 (時間/回)	⑥ 1.0	
荒天日数 (日/年)	⑦ 55	
係留隻数 (隻)	⑧ 4	
労務単価 (円/時間)	⑨ 1,843	R元漁業経営調査報告 (10~20t)
年間便益額 (千円/年)	4,866	(①-⑤)×⑥×⑦×⑧×⑨×⑩

(小型底びき網)

区分		備考
整備前		
見回り回数 (回/日)	① 4	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
見回り人員数 (人)	② 4	
見回り時間 (時間/回)	③ 2.0	
整備後		
見回り回数 (回/日)	④ 1	
見回り人員数 (人)	⑤ 1	
見回り時間 (時間/回)	⑥ 1.0	
荒天日数 (日/年)	⑦ 55	
係留隻数 (隻)	⑧ 6	
労務単価 (円/時間)	⑨ 2,405	R元漁業経営調査報告 (5~10t)
年間便益額 (千円/年)	7,143	(①-⑤)×⑥×⑦×⑧×⑨×⑩

(小型定置網)

区分		備考
整備前		
見回り回数 (回/日)	① 4	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
見回り人員数 (人)	② 4	
見回り時間 (時間/回)	③ 2.0	
整備後		
見回り回数 (回/日)	④ 1	
見回り人員数 (人)	⑤ 1	
見回り時間 (時間/回)	⑥ 1.0	
荒天日数 (日/年)	⑦ 55	
係留隻数 (隻)	⑧ 3	
労務単価 (円/時間)	⑨ 1,774	R元漁業経営調査報告 (小型定置網漁業)
年間便益額 (千円/年)	2,634	(①-⑤)×⑥×⑦×⑧×⑨×⑩

(さし網)

区分		備考
整備前		
見回り回数 (回/日)	① 5	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
見回り人員数 (人)	② 2	
見回り時間 (時間/回)	③ 1.5	
整備後		
見回り回数 (回/日)	④ 1	
見回り人員数 (人)	⑤ 1	
見回り時間 (時間/回)	⑥ 0.5	
荒天日数 (日/年)	⑦ 55	
係留隻数 (隻)	⑧ 9	
労務単価 (円/時間)	⑨ 1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)	2,214	(①-⑤)×⑥×⑦×⑧×⑨×⑩

(その他釣り)

区分		備考
整備前		
見回り回数 (回/日)	①	5
見回り人員数 (人)	②	2
見回り時間 (時間/回)	③	1.5
整備後		
見回り回数 (回/日)	④	1
見回り人員数 (人)	⑤	1
見回り時間 (時間/回)	⑥	0.5
荒天日数 (日/年)	⑦	55
係留隻数 (隻)	⑧	18
労務単価 (円/時間)	⑨	1,118
年間便益額 (千円/年)	⑩	4,427

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告 (3t未満)  
 $(①-⑤) \times ⑥ \times ⑦ \times ⑧ \times ⑨ \times ⑩$

(採貝・採草)

区分		備考
整備前		
見回り回数 (回/日)	①	5
見回り人員数 (人)	②	2
見回り時間 (時間/回)	③	1.5
整備後		
見回り回数 (回/日)	④	1
見回り人員数 (人)	⑤	1
見回り時間 (時間/回)	⑥	0.5
荒天日数 (日/年)	⑦	55
係留隻数 (隻)	⑧	25
労務単価 (円/時間)	⑨	1,118
年間便益額 (千円/年)	⑩	6,149

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告 (3t未満)  
 $(①-⑤) \times ⑥ \times ⑦ \times ⑧ \times ⑨ \times ⑩$

9) 岸壁・用地整備に伴う経費の削減 (給油待ち時間)

新たに整備される岸壁を利用し給油作業が行われるため、整備前に比べ給油待ち時間の短縮が図られる。

$$5,622 \text{ 千円} \times 0.60 = 3,373 \text{ 千円}$$

按分係数0.60 (9次計画の事業費を含めたものと本計画の事業費を考慮して按分)

(沖合底びき網)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	①	0.50
整備後	②	0.00
対象日数 (日/年)	③	56
作業人員 (人/隻)	④	5
該当隻数 (隻)	⑤	4
労務単価 (円/時間)	⑥	1,843
年間便益額 (千円/年)	⑦	1,032

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告 (10~20t)  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥$

(小型底びき網)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	①	0.50
整備後	②	0.00
対象日数 (日/年)	③	56
作業人員 (人/隻)	④	4
該当隻数 (隻)	⑤	6
労務単価 (円/時間)	⑥	2,405
年間便益額 (千円/年)	⑦	1,616

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告 (5~10t)  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥$

(小型定置網)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	①	0.50
整備後	②	0.00
対象日数 (日/年)	③	71
作業人員 (人/隻)	④	4
該当隻数 (隻)	⑤	3
労務単価 (円/時間)	⑥	1,774
年間便益額 (千円/年)	⑦	756

調査日：令和3年10月7日  
 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所  
 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員  
 調査実施者：秋田県水産漁港課職員  
 調査実施方法：ヒアリング調査

R元港勢  
 R元漁業経営調査報告 (小型定置網漁業)  
 $(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥$

(さし網)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	① 0.50	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	② 0.00	
対象日数 (日/年)	③ 71	
作業人員 (人/隻)	④ 2	
該当隻数 (隻)	⑤ 9	
労務単価 (円/時間)	⑥ 1,118	
年間便益額 (千円/年)	714	(①-②)×③×④×⑤×⑥

(イカ釣り)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	① 0.50	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	② 0.00	
対象日数 (日/年)	③ 23	
作業人員 (人/隻)	④ 3	
該当隻数 (隻)	⑤ 14	
労務単価 (円/時間)	⑥ 1,843	
年間便益額 (千円/年)	890	(①-②)×③×④×⑤×⑥

(その他釣り)

区分		備考
待機時間 (時間)		
整備前	① 0.50	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	② 0.00	
対象日数 (日/年)	③ 61	
作業人員 (人/隻)	④ 1	
該当隻数 (隻)	⑤ 18	
労務単価 (円/時間)	⑥ 1,118	
年間便益額 (千円/年)	614	(①-②)×③×④×⑤×⑥

## 10) 臨港道路整備に伴う経費の削減 (漁獲物積み込み・搬出待ち時間)

旧岸壁背後の用地は、狭隘である上に隣接する道路幅も狭く見通しも悪かったため、漁獲物の運搬トラックにとっては、積み込み及び搬出に待ち時間が生じる状況にあった。新たに荷捌き所背後に臨港道路が整備されることで動線がスムーズになり、漁獲物積み込み・搬出の待ち時間の短縮が図られる。

39,428 千円

区分		備考
作業(待機)時間 (時間)		
整備前	① 4.00	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	② 2.50	
対象日数 (日/年)	③ 200	
1日当たり出荷回数 (回)	④ 1	
車両台数 (台)	⑤ 22	
作業人員 (人/台)	⑥ 2	
労務単価 (円/時間)	⑦ 2,987	
年間便益額 (千円/年)	39,428	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

## 11) 船揚場整備に伴う経費の削減 (船揚げと船揚げ場内移動作業軽減)

3t未満の船外機船については、年に1度の点検・整備、四半期に1度の整備(船底清掃、塗料塗布等)を船置き場を利用して行っている。船揚場の勾配が急なため、勾配を改良することにより作業効率が向上し船揚げ作業時間が短縮する。また、船台へのせた後の移動作業についても、この船置き場を利用している船外機船が、新たに整備される船揚場を利用するため作業効率が上がる。

7,275 千円

(船揚げ作業)

区分		備考
1隻当たり船揚げ作業時間 (時間)		
整備前	① 1.25	令和3年10月7日漁協ヒアリング
整備後	② 0.42	
漁船隻数 (隻)	③ 49	R元港勢
上下回数 (回/年)	④ 10	令和3年10月7日漁協ヒアリング
作業人員 (人)	⑤ 6	
労務単価 (円/時間)	⑥ 1,118	R元漁業経営調査報告(3t未満)
年間便益額 (千円/年)	2,728	(①-②)×③×④×⑤×⑥

(船置場移動作業)

区分		備考
1隻当たり船揚げ作業時間 (時間)		
整備前 ①	1.25	令和3年10月7日漁協ヒアリング
整備後 ②	0.42	
漁船隻数 (隻) ③	49	R元港勢
移動回数 (回) ④	10	令和3年10月7日漁協ヒアリング
作業人員 (人) ⑤	10	
労務単価 (円/時間) ⑥	1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)	4,547	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥$

## 12) 岸壁整備に伴う経費の削減 (泊地混雑解消)

港奥部にある泊地は狭隘なことから、複数列や間隔が密な状態での係留作業となっていたため、他漁船の航行の行き来があるだけで船体が動揺し、係留作業に時間を要していた。新たに岸壁が整備されることで係留漁船が分散し、泊地の混雑が解消されることから、係留作業時間の短縮が図られる。

13,832 千円

(沖合底びき網)

区分		備考
1隻当たり作業時間 (時間)		
整備前 ①	0.58	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	0.17	
対象日数 (日/年) ③	164	
1日当たり出漁回数 (回/日) ④	1	
作業人員 (人/隻) ⑤	5	
該当隻数 (隻) ⑥	4	R元港勢
労務単価 (円/時間) ⑦	1,843	R元漁業経営調査報告 (10~20t)
年間便益額 (千円/年)	2,478	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

(小型底びき網)

区分		備考
1隻当たり作業時間 (時間)		
整備前 ①	0.50	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	0.17	
対象日数 (日/年) ③	164	
1日当たり出漁回数 (回) ④	1	
作業人員 (人/隻) ⑤	4	
該当隻数 (隻) ⑥	6	R元港勢
労務単価 (円/時間) ⑦	2,405	R元漁業経営調査報告 (5~10t)
年間便益額 (千円/年)	3,124	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

(小型定置網)

区分		備考
1隻当たり作業時間 (時間)		
整備前 ①	0.58	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	0.17	
対象日数 (日/年) ③	213	
1日当たり出漁回数 (回) ④	2	
作業人員 (人/隻) ⑤	4	
該当隻数 (隻) ⑥	3	R元港勢
労務単価 (円/時間) ⑦	1,774	R元漁業経営調査報告 (小型定置網漁業)
年間便益額 (千円/年)	3,718	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$

(さし網)

区分		備考
1隻当たり作業時間 (時間)		
整備前 ①	0.58	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	0.17	
対象日数 (日/年) ③	209	
1日当たり出漁回数 (回) ④	1	
作業人員 (人/隻) ⑤	2	
該当隻数 (隻) ⑥	9	R元港勢
労務単価 (円/時間) ⑦	1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)	1,724	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦$



(イカ釣り)

区分				備考
1隻当たり作業時間 (時間)				
整備前	①	0.58		調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.17		
対象日数 (日/年)	③	27		
1日当たり出漁回数 (回)	④	1		
作業人員 (人/隻)	⑤	3		
該当隻数 (隻)	⑥	14	R元港勢	
労務単価 (円/時間)	⑦	1,843	R元漁業経営調査報告 (10~20t)	
年間便益額 (千円/年)		857	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦	

(その他釣り)

区分				備考
1隻当たり作業時間 (時間)				
整備前	①	0.58		調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.17		
対象日数 (日/年)	③	178		
1日当たり出漁回数 (回)	④	1		
作業人員 (人/隻)	⑤	1		
該当隻数 (隻)	⑥	18	R元港勢	
労務単価 (円/時間)	⑦	1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)	
年間便益額 (千円/年)		1,469	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦	

(採貝・採草)

区分				備考
1隻当たり作業時間 (時間)				
整備前	①	0.58		調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.17		
対象日数 (日/年)	③	42		
1日当たり出漁回数 (回)	④	1		
作業人員 (人)	⑤	1		
該当隻数 (隻)	⑥	24	R元港勢	
労務単価 (円/時間)	⑦	1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)	
年間便益額 (千円/年)		462	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦	

13) 岸壁整備に伴う経費の削減 (網の修理・点検作業効率向上)

旧岸壁背後の用地は狭隘である上、漁港を利用する漁業関係者の車両により混雑するため、網の修理・点検作業は道路で行うか分港よりの盛土しただけの用地を利用するなどしていた。新たに岸壁が整備されることで漁船が分散して係留できるようになり、作業場所の混雑もなくなり網の修理・点検作業の効率化が図られる。

39,359 千円

(沖合底びき網)

区分				備考
作業時間 (時間)				
整備前	①	6.0		調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	2.0		
年間作業回数 (回/年)	③	48		
作業人員 (人)	④	24		
労務単価 (円/時間)	⑤	1,843	R元漁業経営調査報告 (10~20t)	
年間便益額 (千円/年)		8,493	(①-②)×③×④×⑤	

(小型底びき網)

区分				備考
作業時間 (時間)				
整備前	①	6.0		令和3年10月7日漁協ヒアリング
整備後	②	2.0		
年間作業回数 (回/年)	③	48		
作業人員 (人)	④	30		
労務単価 (円/時間)	⑤	2,405	R元漁業経営調査報告 (5~10t)	
年間便益額 (千円/年)		13,853	(①-②)×③×④×⑤	

(小型定置網)

区分				備考
作業時間 (時間)				
整備前	①	6.0		令和3年10月7日漁協ヒアリング
整備後	②	2.0		
年間作業回数 (回/年)	③	48		
作業人員 (人)	④	26		
労務単価 (円/時間)	⑤	1,774	R元漁業経営調査報告 (小型定置網漁業)	
年間便益額 (千円/年)		8,856	(①-②)×③×④×⑤	

(さし網)

区分		備考
作業時間 (時間)		
整備前 ①	6.0	令和3年10月7日漁協ヒアリング
整備後 ②	2.0	
年間作業回数 (回/年)	③ 48	
作業人員 (人)	④ 38	
労務単価 (円/時間)	⑤ 1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)	8,157	(①-②)×③×④×⑤

14) 臨港道路整備に伴う経費の削減 (漁獲物運搬経費)

旧荷捌き所前道路は、道路幅が狭く見通しも悪かったため、運搬車両、一般車両とも徐行して走行していた。新たに荷捌き所背後に臨港道路が整備されることで、漁獲物の運搬時間が短縮し、運搬経費の削減が図られる。

3,868 千円

(漁業関連車両)

区分		備考
対象区間距離 (km)		
整備前 ①	0.32	令和3年10月7日漁協ヒアリング
整備後 ②	0.38	
対象区間時速 (km/時間)		
整備前 ③	15	令和3年10月7日漁協ヒアリング
整備後 ④	40	
対象区間走行時間 (時間)		
整備前 ⑤	0.0213	0.32km/h ÷ 15km/h
整備後 ⑥	0.0095	0.38km/h ÷ 40km/h
対象区間走行回数 (回)	⑦ 2	往復
対象日数 (日)	⑧ 200	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
作業人員 (人/台)	⑨ 1	
車両台数 (台)	⑩ 368	
労務単価 (円/時間)	⑪ 1,870	R元漁業経営調査報告 (平均)
年間便益額 (千円/年)	3,248	(⑤-⑥)×⑧×⑨×⑩×⑪

(保冷車両)

区分		備考
対象区間距離 (km)		
整備前 ①	0.32	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
整備後 ②	0.38	
対象区間時速 (km/時間)		
整備前 ③	15	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
整備後 ④	40	
対象区間走行時間 (時間)		
整備前 ⑤	0.0213	0.32km/h ÷ 15km/h
整備後 ⑥	0.0095	0.38km/h ÷ 40km/h
対象区間走行回数 (回)	⑦ 2	往復
対象日数 (日)	⑧ 200	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
作業人員 (人/台)	⑨ 2	
車両台数 (台)	⑩ 22	
労務単価 (円/時間)	⑪ 2,987	秋田県実施単価表 (一般運転手)
年間便益額 (千円/年)	620	(⑤-⑥)×⑧×⑨×⑩×⑪

15) 防暑防風施設整備に伴う経費の削減 (除雪経費)

旧陸揚げ岸壁には屋根がなかったため、降雪時においては除雪作業に時間を要していた。新たに岸壁を整備するにあたり、防暑防風施設も一体的に整備され除雪作業経費の削減が図られる。

1,010 千円

区分		備考
除雪作業日数 (日/年)		
整備前 ①	30	調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	0	
作業人数 (人/回)		
整備前 ③	9	
整備後 ④	0	
作業時間 (時間/回)		
整備前 ⑤	2	
整備後 ⑥	0	
労務単価 (円/時間)	⑦ 1,870	R元漁業経営調査報告 (平均)
年間便益額 (千円/年)	1,010	(①-②)×(③-④)×(⑤-⑥)×⑦

16) 泊地・岸壁整備に伴う経費の節減効果（漁具の耐用年数）

旧岸壁背後の用地は、狭隘である上に多くの漁船が係留しており、網を広げて干せるような状況ではなく、分港寄りの石が露出しているような盛土しただけの用地でしか網を乾燥できる場所がなかった。新たに泊地が整備され、漁船が分散し作業場所の混雑もなくなることから、舗装されている用地で網を干すことが可能となり、網の乾燥状態は向上する。また、網の転置回数も減少することから、網と地面との損耗が軽減され、漁具耐用年数の延長効果が図られる。

48,250 千円

(沖合底びき網)

区分			備考
整備前			調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
1カ統の網枚数（枚）	①	3	
網の耐用年数（年）	②	2.0	
整備後			
1カ統の網枚数（枚）	③	3	
網の耐用年数（年）	④	3.0	
購入金額（千円/枚）	⑤	8,000	
漁業者数（カ統）	⑥	4	
年間便益額（千円/年）		16,000	$(1/②-1/④) \times ⑤ \times ⑥$

(小型底びき網)

区分			備考
整備前			調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
1カ統の網枚数（枚）	①	3	
網の耐用年数（年）	②	2.0	
整備後			
1カ統の網枚数（枚）	③	3	
網の耐用年数（年）	④	3.0	
購入金額（千円/枚）	⑤	4,000	
漁業者数（カ統）	⑥	6	
年間便益額（千円/年）		12,000	$(1/②-1/④) \times ⑤ \times ⑥$

(小型定置網)

区分			備考
整備前			調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
1カ統の網枚数（枚）	①	3	
網の耐用年数（年）	②	3.0	
整備後			
1カ統の網枚数（枚）	③	3	
網の耐用年数（年）	④	4.0	
購入金額（千円/枚）	⑤	3,000	
漁業者数（カ統）	⑥	3	
年間便益額（千円/年）		2,250	$(1/②-1/④) \times ⑤ \times ⑥$

(さし網)

区分			備考
整備前			調査日：令和3年10月7日 調査場所：秋田県漁業協同組合南部支所 調査対象者：秋田県漁業協同組合南部支所職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
1カ統の網枚数（枚）	①	20	
網の耐用年数（年）	②	1.0	
整備後			
1カ統の網枚数（枚）	③	20	
網の耐用年数（年）	④	2.0	
購入金額（千円/枚）	⑤	200	
漁業者数（カ統）	⑥	9	
年間便益額（千円/年）		18,000	$(1/②-1/④) \times ⑤ \times ⑥$

(2) 漁獲可能資源の維持培養効果

1) 沖防波堤整備に伴う漁獲量の増大

沖防波堤のマウンドが、アワビ・イワガキの増殖場となり、漁獲可能資源の増加が図られる。

355 千円

区分			備考
アワビ単価（円/kg）	①	6,340	H27～R元港勢平均
イワガキ単価（円/kg）	②	562	H27～R元港勢平均
アワビ原単位（kg/m <sup>2</sup> ）	③	0.01	R元年度金浦漁港調査報告
イワガキ原単位（kg/m <sup>2</sup> ）	④	0.07	R元年度金浦漁港調査報告
アワビ年間増加漁獲量（kg）	⑤	80	③×マウンド面積8,000m <sup>2</sup>
イワガキ年間増加漁獲量（kg）	⑥	560	④×マウンド面積8,000m <sup>2</sup>
漁業所得率（%）	⑦	0.432	R元漁業経営調査報告（3t未満）
年間便益額（千円/年）		355	$(⑤ \times ① + ⑥ \times ②) \times ⑦$

2) 漁場整備に伴う漁獲量の増大

増殖場の整備に伴い、アワビ・イワガキ漁獲可能資源の増加が図られる。

1,804 千円

(赤石漁場・アワビ)

区分			備考
増殖場整備面積 (㎡)	①	45,000	
πブロック5t型設置個数 (個)	②	2,812	①/16㎡
ブロック1個当たり付着可能面積 (㎡/個)	③	17	πブロック5t型
アワビ原単位 (kg/㎡)	④	0.01	R元年度金浦漁港調査報告
アワビ単価 (円/kg)	⑤	6,847	H27～R元港勢平均
アワビ年間増加漁獲量 (kg)	⑥	478	②×③×④
漁業所得率 (%)	⑦	0.432	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)		1,414	⑤×⑥×⑦

(金浦漁場・イワガキ)

区分			備考
増殖場整備面積 (㎡)	①	20,000	
πブロック5t型設置個数 (個)	②	1,250	①/16㎡
ブロック1個当たり付着可能面積 (㎡/個)	③	17	πブロック5t型
イワガキ原単位 (kg/㎡)	④	0.07	R元年度金浦漁港調査報告
イワガキ単価 (円/kg)	⑤	607	H27～R元港勢平均
イワガキ年間増加漁獲量 (kg)	⑥	1,488	②×③×④
漁業所得率 (%)	⑦	0.432	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
年間便益額 (千円/年)		390	⑤×⑥×⑦

(3) 漁業就業者の労働環境改善効果

1) 岸壁・防暑防風施設整備に伴う労働環境改善

旧岸壁(準備及び陸揚げ)のエプロン部は、老朽化によるクラックや吸い出しによる陥没箇所があったり、沈下等により所要の天端高を満たしていないなど安全性や快適性に問題があった。新たに岸壁が整備されることによりこれらの問題が改善され、防暑・防風施設も一体的に整備されることで、労働者の安全性・快適性が向上し、労働環境の改善が図られる。

12,183 千円 × 0.60 = 7,310 千円

按分係数0.60 (9次計画の事業費を含めたものと本計画の事業費を考慮して按分)

(沖合底びき網)

区分			備考
作業状況基準値			
整備前	①	1.237	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後	②	1.000	労働環境別基準値 (Cランク)
年間出漁日数 (日/年)	③	135	
1隻当たり作業人員 (人/隻)	④	5	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
該当隻数 (隻)	⑤	4	R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑥	1,843	R元漁業経営調査報告 (10～20t)
作業時間 (時間)	⑦	2.0	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)		2,359	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(小型底びき網)

区分			備考
作業状況基準値			
整備前	①	1.237	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後	②	1.000	労働環境別基準値 (Cランク)
年間出漁日数 (日/年)	③	135	
1隻当たり作業人員 (人/隻)	④	4	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
該当隻数 (隻)	⑤	6	R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑥	2,405	R元漁業経営調査報告 (5～10t)
作業時間 (時間)	⑦	2.0	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)		3,694	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(小型定置網)

区分			備考
作業状況基準値			
整備前	①	1.237	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後	②	1.000	労働環境別基準値 (Cランク)
年間出漁日数 (日/年)	③	174	
1隻当たり作業人員 (人/隻)	④	4	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
該当隻数 (隻)	⑤	3	R元港勢
労務単価 (円/時間)	⑥	1,774	R元漁業経営調査報告 (小型定置網漁業)
作業時間 (時間)	⑦	2.0	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)		1,756	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(さし網)

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1.237	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後 ②	1.000	労働環境別基準値 (Cランク)
年間出漁日数 (日/年) ③	174	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
1隻当たり作業人員 (人/隻) ④	2	
該当隻数 (隻) ⑤	9	R元港勢
労務単価 (円/時間) ⑥	1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
作業時間 (時間) ⑦	2.0	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)	1,660	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(イカ釣り)

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1.237	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後 ②	1.000	労働環境別基準値 (Cランク)
年間出漁日数 (日/年) ③	23	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
1隻当たり作業人員 (人/隻) ④	3	
該当隻数 (隻) ⑤	14	R元港勢
労務単価 (円/時間) ⑥	1,843	R元漁業経営調査報告 (10~20t)
作業時間 (時間) ⑦	2.0	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)	844	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(その他釣り)

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1.237	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後 ②	1.000	労働環境別基準値 (Cランク)
年間出漁日数 (日/年) ③	148	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
1隻当たり作業人員 (人/隻) ④	1	
該当隻数 (隻) ⑤	18	R元港勢
労務単価 (円/時間) ⑥	1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
作業時間 (時間) ⑦	2.0	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)	1,412	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

(採貝・採草)

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1.237	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後 ②	1.000	労働環境別基準値 (Cランク)
年間出漁日数 (日/年) ③	36	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
1隻当たり作業人員 (人/隻) ④	1	
該当隻数 (隻) ⑤	24	R元港勢
労務単価 (円/時間) ⑥	1,118	R元漁業経営調査報告 (3t未満)
作業時間 (時間) ⑦	2.0	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)	458	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦

## (4) 生活環境の改善効果

- 1) 臨港道路整備により速度を維持できるため、走行時間の短縮による経費削減  
臨港道路を整備することにより、速度を維持できるため走行時間の短縮が図られる。

4,957 千円

区分		備考
対象区間距離 (km)		
整備前 ①	0.32	
整備後 ②	0.38	
対象区間時速 (km/h)		
整備前 ③	15	令和3年10月7日漁協ヒアリング調査
整備後 ④	40	
対象区間走行時間 (時間)		
整備前 ⑤	0.0213	0.32km/h ÷ 15km/h
整備後 ⑥	0.0095	0.38km/h ÷ 40km/h
対象区間走行回数 (回) ⑦	2	往復
対象日数 (日/年) ⑧	261	365日 ÷ 5/7 (1週間の車両使用日数5日)
乗車密度 (人/台) ⑨	1.67	H6年度自動車輸送統計年報
車両台数 (台) ⑩	610	H11年度由利南部地区業務委託報告書
労務単価 (円/時間) ⑪	790	秋田県最低賃金
年間便益額 (千円/年)	4,957	(⑤-⑥)×⑧×⑨×⑦×⑩×⑪

(5) 漁業外産業への効果

1) 生産量増加に伴う流通・販売利益の向上

増殖場の整備に伴う生産量の増加（アワビ、イワガキ）に伴い、産地から消費地市場までの出荷過程の間に流通業者等に帰属する付加価値が図られる。

161 千円

(アワビ)

区分		備考
アワビ年間増加漁獲量 (kg)	① 478	(2) 2) 漁場整備に伴う漁獲量の増大⑥による
アワビ出荷先市場価格 (円/kg)	② 7,492	H27～R元東京中央卸売市場価格平均
アワビ産地市場価格 (円/kg)	③ 6,847	H27～R元産地市場価格平均
付加価値率 (%)	④ 30.0	H27～R元個人企業経済調査平均
年間便益額 (千円/年)	92	①×(②-③)×④

(イワガキ)

区分		備考
イワガキ年間増加漁獲量 (kg)	① 1,488	(2) 2) 漁場整備に伴う漁獲量の増大⑥による
イワガキ出荷先市場価格 (円/kg)	② 762	H27～R元東京中央卸売市場価格平均
イワガキ産地市場価格 (円/kg)	③ 607	H27～R元産地市場価格平均
付加価値率 (%)	④ 30.0	H27～R元個人企業経済調査平均
年間便益額 (千円/年)	69	①×(②-③)×④

(6) 生命・財産保全・防衛効果

1) 漁港整備による背後地への被害減少効果

既存海岸護岸の背後集落には、台風時や低気圧停滞時に越波の影響で家屋の損害等被害を受けていた。また、日本海中部地震（S58.5.26）により、重大な被害を受けた経緯もある。漁港の整備により、民家に対して越波の影響がなくなり、背後地への被害が軽減される。

92,087 千円× 0.6 = 55,252 千円

按分係数0.60 (9次計画の事業費を含めたものと本計画の事業費を考慮して按分)

区分		備考
一般資産被害額 (千円/世帯)	① 11,093	海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）令和2年4月一部更新
公共土木施工被害額 (千円/世帯)	② 19,967	海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）令和2年4月一部更新(①×1.8)
公共事業被害額 (千円/世帯)	③ 333	海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）令和2年4月一部更新(①×0.03)
再生産不可能有形資産額 (千円/世帯)	④ 0	海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）令和2年4月一部更新
一般の営業停止損失額 (千円/世帯)	⑤ 0	海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）令和2年4月一部更新
高潮や津波等の来襲頻度 (年)	⑥ 30	1/30確率年
防御人口 (世帯)	⑦ 88	H16年台風15号による被害世帯数
年間便益額 (千円/年)	92,087	(①+②+③+⑤)÷⑥×⑦+④

(7) 自然環境保全・修復効果

1) ホンダワラ科海藻の増加による水質浄化効果

増殖場の整備に伴い、ホンダワラ科海藻の増加するため水質浄化効果が図られる。

7,264 千円

(赤石漁場)

区分		備考
秋田県における海藻現存量 (kg/m <sup>2</sup> )	① 9.181	H28年度戸賀漁場地区業務委託報告書
ホンダワラ科海藻の乾/湿重量係数	② 0.16	漁港の生態系構造と生物現存量の推定 (H22～24年度水産環境整備推進技術開発)
窒素含有率 (%)	③ 0.0241	京都府沿岸におけるホンダワラ科海藻の炭素・窒素・リン含有量の季節変化
増加生産量	④ 1.20	ガイトライ参考資料
下水処理場における窒素除去量あたり年間経費 (円/kg)	⑤ 24,779	
付着可能面積 (ha)	⑥ 4.8	(2) 漁獲可能資源の維持培養効果 2)による (7'ロット個数×付着面積)
年間便益額 (千円/年)	5,053	①×②×③×④×⑤×⑥

(金浦漁場)

区分		備考
秋田県における海藻現存量 (kg/m <sup>2</sup> )	① 9.181	H28年度戸賀漁場地区業務委託報告書
ホンダワラ科海藻の乾/湿重量係数	② 0.16	漁港の生態系構造と生物現存量の推定 (H22～24年度水産環境整備推進技術開発)
窒素含有率 (%)	③ 0.0241	京都府沿岸におけるホンダワラ科海藻の炭素・窒素・リン含有量の季節変化
増加生産量	④ 1.20	ガイトライ参考資料
下水処理場における窒素除去量あたり年間経費 (円/kg)	⑤ 24,779	
付着可能面積 (ha)	⑥ 2.1	(2) 漁獲可能資源の維持培養効果 2)による (7'ロット個数×付着面積)
年間便益額 (千円/年)	2,211	①×②×③×④×⑤×⑥



## 施設整備前後の労働環境評価チェックシート

評価指標		ポイント	チェック		評価の根拠（整備前）	根拠（評価の目安）	
			整備前	整備後			
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気等が頻発している	3			ほぼ毎日のように事故や病気が発生	
		b 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2		平成●年に、転倒事故が発生	直近5年程度での発生がある	
		c 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		発生はないが危険性はあった	
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2			突風により転倒し、一定期間の通院が必要となった	転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○		軽い打撲等	軽い打撲等
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
危険性 小計		0~6	2	0			
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5				酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		風雪等の影響を強く受ける	風雨、波浪の飛沫等	
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1		○		防暑防風施設整備により、夏季の直射日光や冬季の風雪による過酷な環境下での作業が改善	
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0					
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		港内静穏度が悪い状況での陸揚げ作業等負担の大きい作業を強いられていた。	長時間の同じ姿勢での作業等	
	c 肉体的負担がある作業	1		○		水域施設や係留施設整備により、待機時間の解消や見回り回数が軽減され作業環境が改善	
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0					
評価ポイント 計			8	2			

Aランクの条件：評価ポイント計16～13ポイント

Bランクの条件：評価ポイント計12～6ポイント

Cランクの条件：評価ポイント計5～0ポイント